

「急性期地域中核病院での維持透析中患者に対する外来理学療法の現状」について

1. 研究の対象

2023年4月1日から2025年3月31日の2年間に当院で腎センターより依頼があり外来リハビリテーションを施行した維持透析中の患者さん

2. 研究目的・方法

通院透析の患者さんでは、フレイルの進行やADL低下、体調不良や疼痛の出現などを認め、リハビリテーションが依頼されることがあります。しかし、依頼のタイミングや依頼された時の患者さんのADLはばらつきが大きく、現在効果的なリハビリの頻度や量、介入のタイミングなども明らかになっていません。本研究では依頼のタイミングや依頼された時のADLが外来透析後のリハビリテーションにどのような影響を及ぼすのかを明らかにすることを目的とします。

電子カルテより、2023年4月1日から2025年3月31日の2年間に当院で腎センターより依頼があった外来リハビリテーションを施行した維持透析中の患者を抽出し、リハビリテーション以来の経緯、介入時のADL、終了時のADL、リハビリテーション終了理由、実施回数、実施期間(日数)を調査します。

研究期間は、病院長許可日から2025年11月30日です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・リハビリテーション依頼の経緯
- ・介入時ADL,終了時ADL
- ・リハビリテーション終了理由
- ・実施回数,実施期間(日数)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：磐田市大久保 512-3 場所：磐田市立総合病院 リハビリテーション技術科
Tel：0538-38-5000（代表） 研究責任者：清水貴久